

組合員の皆さま

6月20日（土）食堂での加熱不十分な商品提供について（最終報告）

平素より大阪大学生生活協同組合の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
ます。

このたび、6月20日（土）に図書館下食堂において提供した一部商品（ジューシー鶏カツオーロラソース）において、加熱が不十分な状態で提供される事案が発生いたしました。

本件により、組合員の皆さまに多大なるご不安とご迷惑をおかけしましたことについて、大阪大学生生活協同組合として心より深くお詫び申し上げます。

【1. 事案の概要】

本事案は、6月20日13時30分頃、図書館下食堂において提供された一部商品において、加熱が不十分な状態のものが確認されたものです。当該時間帯において利用者から返金・交換の申し出があり、その後の確認により、調理および確認工程に不備があったことが判明しました。

【2. 発生原因】

本件について調査を行った結果、以下の要因が重なったことによるものと判明しております。

- ・ 閉店前の時間帯に来客が集中し、追加調理が連続したこと
- ・ 複数食材を同一のフライヤーで同時に調理したことによる加熱管理の不備
- ・ 該当時間における中心温度確認および記録の未実施
- ・ 繁忙時における手順逸脱および確認体制の不徹底

以上から、本件は 人的要因（判断の逸脱）、設備・運用要因（フライヤー運用の制約）、管理要因（確認手順の未徹底）が重なった複合的な事案であると認識しております。

【3. 健康影響について】

当該時間帯前後にご利用いただいた方のうち、利用者を特定できた方（生協電子マネー決済利用の方）へ個別メールにてご連絡のうえお詫びと健康状態の確認を行いました。現時点では重篤な健康被害の報告はなく、現段階においては集団的な食中毒事案には至っていないものと認識しております。なお、潜伏期間を考慮し一定期間の健康

状況の確認を行いました。

また、一名の方より体調不良のご連絡をいただきましたが、個別に状況を確認し、誠意をもって対応をすすめました。

なお、該当時間帯前後を含め確認のため、13時15分以降にご利用の記録がある方を対象に個別連絡を実施しました。対象者の範囲を安全側に設定したうえで対応を行っており、初動対応として適切に対応したものと認識しております。

【4. 再発防止策】

本件を重く受け止め、以下の再発防止策を実施しております。

- ・複数食材の同時調理の禁止
- ・フライヤー運用体制の見直し
- ・中心温度確認および記録管理の徹底
- ・調理基準および手順の再確認

今後は、関係機関の見解も踏まえながら、安全管理体制のさらなる強化に取り組んでまいります。

【5. 組織としての対応】

本件は現場対応に起因する事案であると同時に、運営体制および管理監督の仕組みとして十分でなかった点があったものと認識しております。

大阪大学生活協同組合として、本件を厳粛に受け止め、事業運営全体の安全管理体制の見直しを行い、再発防止および信頼回復に責任をもって取り組んでまいります。

【6. 今後について】

引き続き、本件に関する状況を適切に把握し、必要な対応を講じてまいります。

また、組合員の皆さまに安心してご利用いただけるよう、情報提供の充実および透明性の確保に努めてまいります。改めまして、このたびは誠に申し訳ございませんでした。

2026年7月15日

大阪大学生活協同組合 理事会